

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2002-318691(P2002-318691A)

【公開日】平成14年10月31日(2002.10.31)

【出願番号】特願2002-26922(P2002-26922)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 9/44

G 06 F 15/177

【F I】

G 06 F 9/44 5 8 0 K

G 06 F 15/177 6 7 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月14日(2004.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

問題を診断するためのB B Nモデルの計算リソース要件を推定する方法であって、前記B B Nモデルの複雑性の少なくとも1つの量的属性を決定するステップと、多項式の複雑性に従って、前記少なくとも1つの量的属性の関数として前記計算リソース要件を推定するステップと、を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記決定ステップは、

前記B B Nモデルにおける原因の数(N_C)を決定するステップと、前記B B Nモデルにおけるステップの数(N_S)を決定するステップと、を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記N_Sを決定するステップは、N_AをB B Nにおいて取り得る行動の数、N_QをB B Nにおける質問の数としたとき、N_Sを(N_A + N_Q)として決定するステップからなる、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記推定ステップは、前記計算リソース要件をN_CとN_Sの多項式関数として計算するステップを含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記計算ステップは、推定された記憶空間における前記計算リソース要件(y)を $y = 2 \times (N_C \times N_S)^{0.8}$ として計算するステップを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

問題を診断するためのB B Nモデルの計算リソース要件を推定するシステムであって、前記B B Nモデルの複雑性の少なくとも1つの量的属性を決定する手段と、多項式の複雑性に従って、前記少なくとも1つの量的属性の関数として前記計算リソース要件を推定する手段と、を含むことを特徴とするシステム。

【請求項7】

前記決定手段は、

前記B B Nモデルにおける原因の数(N_C)を決定する手段と、
前記B B Nモデルにおけるステップの数(N_S)を決定する手段と、
を含む、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記 N_S を決定する手段は、 N_A をB B Nにおいて取り得る行動の数、 N_Q をB B Nにおける質問の数としたとき、 N_S を $(N_A + N_Q)$ として決定する手段からなる、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記推定手段は、前記計算リソース要件を N_C と N_S の多項式関数として計算する手段を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記計算手段は、推定された記憶空間における前記計算リソース要件(y)を $y = 2 \times (N_C \times N_S)^{0.8}$ として計算することを含む、請求項9に記載の方法。